

## 地域に寄り添い、子どもたちと家庭を支える枚方保育所

### — 地域子育て支援「れもんぐみ」の取り組み —



枚方保育園内一般開放のクラス「れもんぐみ」の様子

昭和48年(1968年)に東田宮で開設された枚方保育所は施設の老朽化により、平成30年(2018年)に新しい園舎が完成しました。地域子育て支援の一環として、園舎の横には保育所のクラスとは別の「一般開放」のクラス、子ども・保護者・保育士が一緒に過ごしながら交流できる場「れもんぐみ」があります。白井所長は「子ども一人ひとりの成長や発達、特性に合わせて、『教育』と『養護』の両面を大切にしたい保育を目指し、特に日々の『遊び』を重視し、子どもたちが思いきり遊ぶ中で、相手を思いやり、自分を大切にできる力を育てたい」と語られました。

**子どもを中心とした 親同士の交流**

ツバサくん(1歳2か月※)一家は、もともと関東に住んでいました。出産後まもなく父の転勤で引っ越すことになり、調べていく中で子育て環境が良さそうな枚方市を選んだとのこと。知らない土地での初めての子育てに不安もある中、3ヶ月の時にれもんぐみのイベント「あかちゃん会」がきっかけで通い始めました。「離乳食を食べなくなったときに相談したら、保育士さんがいくつかレシピを教えてくれて本当に助かりました」とお母さん。ちょっとした相談ができる安心感が、子育てを支える大きな力になっています。れもんぐみでは、子どもたちが年齢や月齢の違いを超え遊びを通じて仲良くなり同時に保護者同士の交流も自然に生まれます。通っている家庭の多くは枚方市外からの転入者で、れもんぐみでの出会いをきっかけに「ママ友」「パパ友」としてつながりができるそうです。子どもたちだけでなく大人にとっても安心して語り合える場になっています。

(※名前は仮称です)

#### れもんぐみの「一般開放」の利用方法

利用は予約不要。時間内であれば自由に来て、室内でおもちゃや絵本を楽しめます。みんなで体を動かすプログラムもあり。「一般開放」とは別に「園庭開放」も。月に2回は「あかちゃん会」などのイベントや講座も開催。子育ての悩みや情報を共有できる場として多くの家庭に利用されています。詳しい日程や内容は、右記QRより枚方保育所のホームページにて。



枚方保育所 東田宮1丁目2番5号

(開室▶月曜日～金曜日 / 時間▶午前9:30～14:30)



子育て支援



自分の地区の一時待避所はどこかな?



防災食糧キット作り

## 枚二まつりで 一時待避所の再確認を

11月29日(土)枚二小学校にて枚二PTAと枚二校区コミュニティ協議会による「枚二まつり」が開催されました。天候にも恵まれ青空の下、グラウンドや校舎では子供たちの笑い声に包まれにぎやかな、おまつりとなりました。今回は12のブースが出展し、PTAが管轄する遊び系、作りたて焼きそば、また、一時待避所を展示した防災系のブースがありました。まつりを通して地域住民との交流や防災への関心を持つてほしいとの願いが込められています。又、2月に児童が中心として開催する「枚二まつり」の予行練習の意味もあり、今後も続けていきたい大事な地域のイベントの一つです。



枚方市小学校  
本貸出冊数  
**No.1**  
枚二小学校  
図書貸出冊数  
2年連続  
No.1に

枚二小学校では令和4・5年度の図書貸出冊数が枚方市学校司書配置校の中で児童一人当たりの本の貸し出し冊数が最も多い学校となりました。(令和4年度23695冊、令和5年度24470冊)当協議会が推進している新たな不登校の児童を生まないことを目的とした「学校をより楽しくするプロジェクト」の一つに小学校図書館の充実があります。オーデイオセットの設置、空き教室を利用した児童がより快適に過ごせる環境作り「ほつとルーム」の開設など、居心地の良い空間づくりに注力しました。このような活動の一つ一つが、読書活動への積極的な参加へ促進された結果につながってれば、うれしい限りです。今後も本を読むだけの場所としてだけでなく、地域と子供たちの関わりができる場所として図書館の新たな利用価値に学校や地域住民と討論を続けていきたいと思えます。



## 若い世代が地域活動へ 今後の活躍に大きな期待

7月19日(土)に枚方中学校で「ふれあい祭り」が開催されました。吹奏楽部、志願者によるパフォーマンスが披露されました。今回新たな試みで、学生の発案による「学校を楽しい場所にしたい」という想いから、校舎を使った謎解きクイズラリーも行われました。昨年度とは異なる趣向で、クイズラリーには長蛇の列ができるほど大盛況でした。参加者は指示書を手に校舎内のヒントを探しながら謎を解き、頭を悩ませつつも楽しんでいました。最後には恒例の花火大会で締めくくられ、夏の思い出となる一日となりました。

11月15日(土)ラポールひらかたで「枚方市地域防災推進員研修会」に当協議会広報部に所属する大学生が参加しました。消火器の取り扱いや重量物の持ち上げ方など、実技を通して災害時に役立つ基礎的な知識と技術を学びました。防災においては「自助・共助・公助」の3つの考え方が重要ですが、なかでも災害が発生した直後は、公的支援が行き届くまでの間、自助と共助の力が大きな役割を果たします。今回の研修を通じて地域の一員として「自分たちのまちを自分たちで守る」という意識を改めて認識することができました。

### 編集後記 礎51号

前任者から広報担当を引き継ぎこれまで知らなかった「枚二校区の良さ」を新たな視点で皆さまに伝えていきたいと思えます。





# 東海道五十六次を知る

東海道五十七次は江戸の日本橋から大坂の高麗橋まで続く東海道上に置かれた57カ所の宿場町のことです。「枚方宿」は「伏見宿」↓「淀宿」の次、56番目に当たります。

新町の消防本部の外壁と岡本町公園の向かい側に、「東海道(京街道)枚方宿案内図」の英語の表記を伴った大きな看板があります(上写真)。

枚方宿のルートは「東見附」から淀川の船着場に近い「西見附」まで。

明治43(1910)年、鉄道の開通と同時に西に「枚方駅」(現公園駅)、東に「枚方東口駅」(現市駅)と2つの駅が開業し、枚方宿の玄関口となりました。

江戸期の交通は京都・大阪間を船で人や物資を運び、枚方は要所(中継港)として栄えました。夜でも船が着き、宿場から帰る人も多く、夜通し明かり「常夜灯」がともされました。

この賑わいを再現しようとして過去に、枚方・大阪間は「淀川舟運」としてよみがえり、現在は枚方伏見間でも船だけでなく社会実験が行われています。

## 中継港として繁栄

## ふとん太鼓「西」へかつぐ

枚方宿では10月12日(日)、恒例の4町による「ふとん太鼓巡行」が開催され、新町は東見附から西見附まで担ぎ、各町指定のコースを練り歩きました。

淀川河川公園では「みなと五六市」も開催され、街道沿いは多くの人で賑わいました。



新町、岡本町、岡東町、三ツ矢町による4町そろい踏み(岡本町公園にて)

### お知らせ

10月26日(日)に枚方第二小学校で開催予定だった区民体育祭は残念ながら雨のため中止となりました。ご準備いただいた役員や委員の皆様ありがとうございました。

枚二コミュニティHPリニューアル  
見やすくなりました♪



枚二校区コミュニティ協議会



トリを務める2時間以上も前から会場に姿を見せ、話のネタを探す渚家栄都さん

敬老の心を持って

# つないだ毎月 続けた3年

「敬老の心」は単なる礼儀作法ではなく、先人の知恵から学び、未来へとつなげていく大切な価値観です。敬老の日は社会全体で高齢者を大切にすることを育む日でもありません。一人ひとりが老いる過程で得られる知恵や経験の価値を再認識する機会でもあります。

真夏などを除き、原則毎月開催の「枚二ふくし寄席」が高齢者保健福祉月間の9月26日(金)、発足3周年を迎えました。

同寄席は社会福祉協議会や地域包括、市の関連部署等の協力を得、4年前から1年の準備期間を経て一つの「わ」をつくりあげました。

毎回ラポールひらかたの会場をお借りして、今回は

- ▽「やかまし娘」
- ▽「人生会議」
- ▽「丈夫な骨をつくろう」
- ▽「落語」

のアイテムを用いて脳の活性化と笑いを誘い、約50人の参加高齢者を前に人生100年時代のライフスタイルを導いていきます。



丈夫な骨をつくろう

クイズ形式で、丈夫な骨をつくるための解説をする大阪医専・保健師実習生のみなさん



人生会議

「“人生会議”をぜひ終活に加えてみましょう」と話す市健康福祉部・健康づくり課の中西さん



やかまし娘

「うちら陽気な・・・♪」と楽器を用い語りも3年続けた「やかまし娘」の歌謡ショーです

参加無料 予約不要  
会員外は有料

枚二ふくし寄席  
毎月第4金曜日 14:00~16:00  
(2・7・8月はお休みです)  
会場：ラポールひらかた4階  
定員：会員限定 先着110名様  
(会員以外是有料です)  
会員(60歳以上)になるには民生委員もしくは事務局までお問合せ：  
枚二校区コミュニティ協議会事務局  
hira2.com10@gmail.com

### 人生会議とは？

人世の最終段階における医療・ケアなどについて、本人や家族医療者たちと事前に話し合う取り組みのことで、もしもの時の話し合いで、自分の意思が伝えられるうちから始めましょう。

### 落語



「50年続く枚二の友人もこの会場に来てくれている」と語る渚家さん

### 一緒にやりませんか？「枚二福祉推進の会」福祉サポーター募集

生き生きと楽しく暮らしていける地域を目指し、できる方ができる範囲で事業を手伝う仕組みを作っていきます。年に一回程度の活動でも大丈夫！一緒に活動していただける方は左のQRコードよりご応募ください。